

令和7年度全国学力・学習状況調査結果について

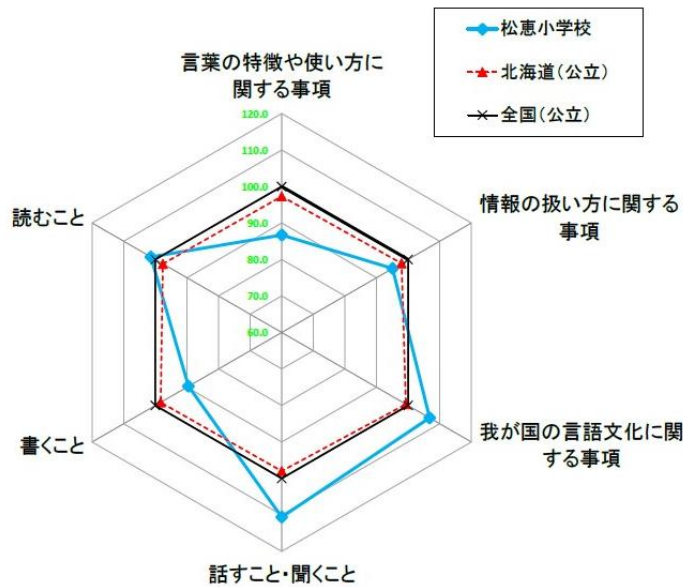
「令和7年度全国学力・学習状況調査」（令和7年4月19日6年生実施）について、北海道及び恵庭市における学力等調査の結果と本校の調査結果から、本校の傾向の分析がまとまりましたのでご報告します。

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果概要

(1) 教科全体の状況

国 語	全道とほぼ同程度、全国をやや下回る
算 数	全道を上回り、全国と同程度
理 科	全道、全国を上回る

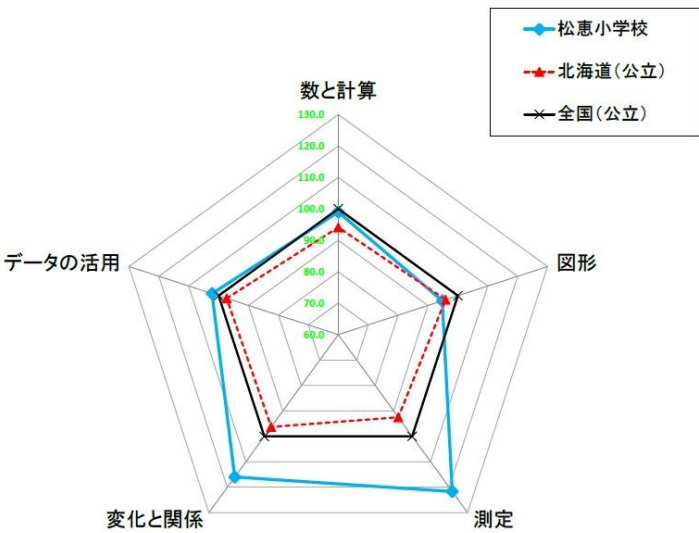
※全体が表示されるように数値の範囲はグラフによって異なります。
黒い正図形の全国の数値を 100 とした割合で示してあり、赤が全道、水色が松恵小を表しています。



(2) 国語
国語については、全道とほぼ同程度、全国をやや下回る結果でした。

領域別の平均正答率を見ると、「知識及び技能」では、【我が国の言語文化に関する事項】は、全国比を上回る結果でした。【言葉の特徴や使い方にに関する事項】【情報の扱い方に関する事項】は、全国比を下回っています。「思考力・判断力・表現力等」では、【話すこと・聞くこと】が全国比を上回り、【読むこと】は全国並み、【書くこと】は全道・全国を下回る結果でした。

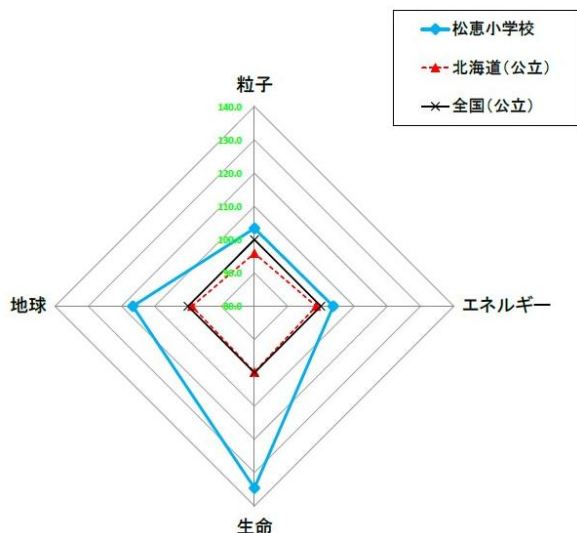
“書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるかどうかをみる問題”に課題が見られたことから、相手や目的を明確にしたパンフレットや報告文書の制作活動を充実させ、書く力をより高めていくことを目指します。



(3) 算数
算数については、全道を上回り、全国と同程度の結果でした。

平均正答率を見ると、「知識及び技能」が全道、全国を上回り、「思考・判断・表現」が全道をやや上回る結果でした。領域別に見ると、【測定】【変化と関係】の数値が高く、【数と計算】【データの活用】は全国並み、【図形】の数値が全国を下回り、全道並みの結果となりました。

習熟場面の持ち方を工夫すると共に、他教科や総合的な学習の時間などにおいて学んだことを活用する場面を意図的に設けていくことで力を高めていくことを目指します。



(4) 理科

理科については、全道、全国を上回る結果でした。

平均正答率を見ると、「知識及び技能」「思考・判断・表現」ともに全道、全国を上回る結果でした。領域別に見ると【地球】【生命】の数値が全国比を大きく上回る結果となりました。

“身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる問題”に課題が見られたことから、学習内容と日常生活を結び付け、行き来することで、知識の定着を目指します。

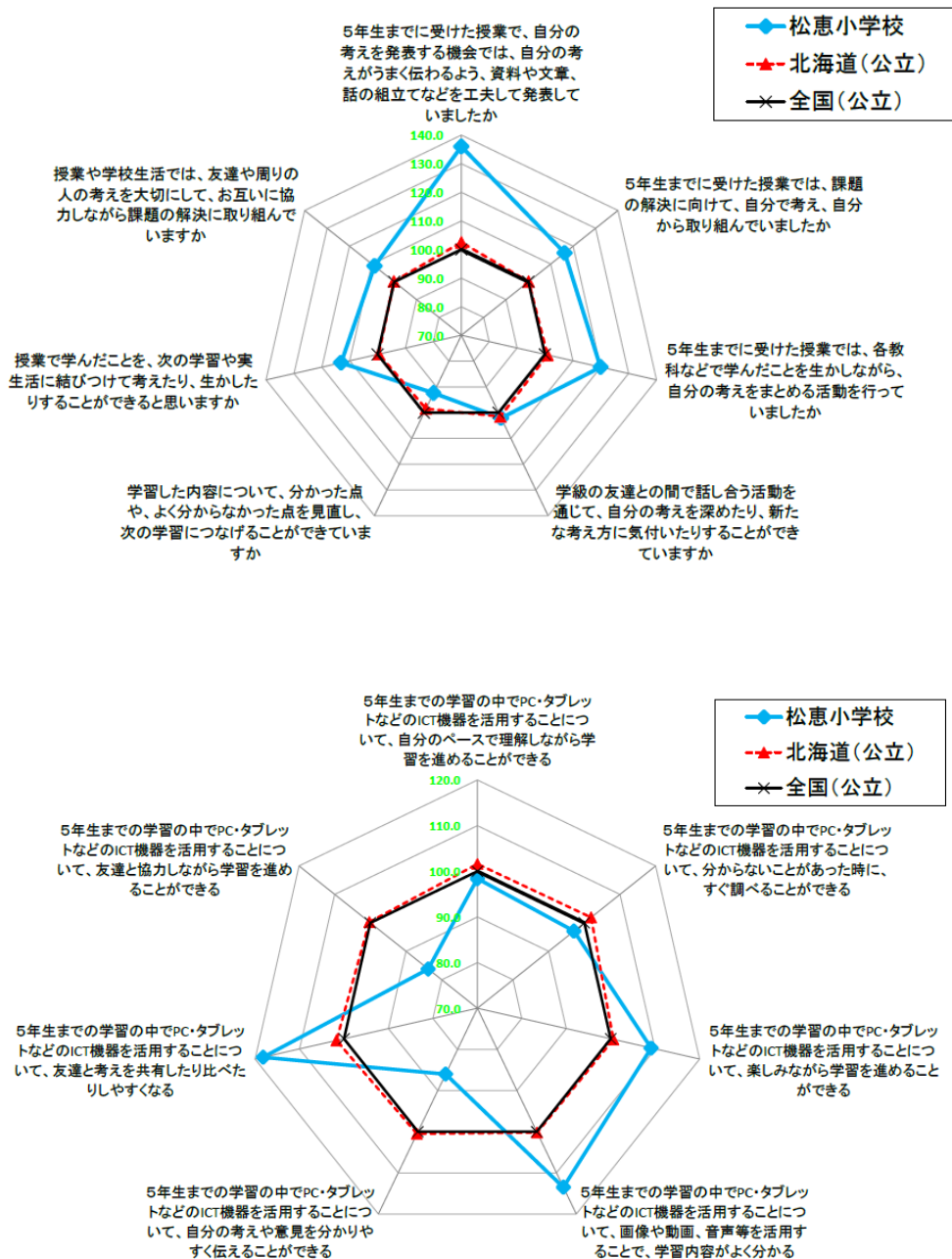
(5) 児童質問紙の回答から

◇授業改善に関する取組

「主体的・対話的で深い学び」に関わる項目です。ほとんどの項目で肯定的回答（「当てはまる」「やや当てはまる」）が多く見られました。特に、自分の考えを工夫して発信したり、まとめたりする活動に主体的に取り組んでいることが分かります。一方で、学習した内容をもとに、次の学習につなげることが課題です。今後も少人数の良さを生かし、振り返りと、その教科の目標を達成するための学びの自己調整を重視し、学習を進めてまいります。

「ICTの活用」に関わる項目です。

本校は、授業での使用頻度が高く、児童が学習の理解を深めたり、考えを比較したりするツールの一つとして活用していることが分かります。一方で、「分かりやすく伝える」「協力しながら学習を進める」経験が課題です。国語や総合的な学習の時間の中で、「考えを整理してまとめる」「協同で作業する」ツールとして活用し、学びの質を高めていけるように取り組んでまいります。



◇国語・算数・理科

今回の調査では、上記の3教科についての質問項目が設定されていました。

どの教科でも、自分の考えを進んで発信したり、学習に粘り強く取り組んだりしていることが分かります。特に、算数の学習では、課題解決のために、思考の過程を図や式で表現し、説明する活動のよく行っており、先述の算数の「思考・判断・表現」の結果につながっていることが推察されます。

一方で、理科の学習で得た知識や経験と日常生活との接続に係わる数値が全般的に低いことが分かります。学習を通して身につけた力は、教室の中だけで完結させず、周りに広く目を向け、自己実現のために役立ててほしいと考えます。そのため、教科横断的に学習した内容とキャリア教育とも関連づけさせたりすることで、自身への気づきや自己の可能性を広げる手立ての一つとしていきます。

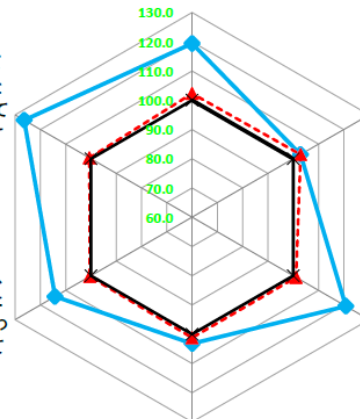
今後も一人一人の理解度に合わせた丁寧な授業により学習への意欲を高め、「できる」「わかる」と感じられる授業を目指します。

また、中学校進学に向け、各教科の資質・能力の育成と定着を図ってまいります。

国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けていますか

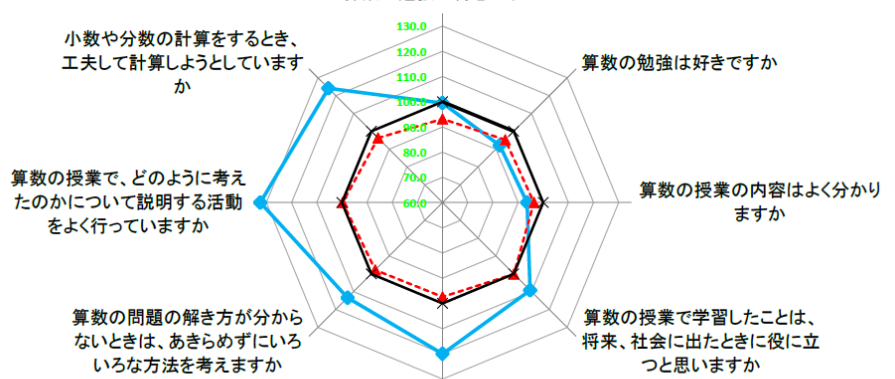
国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか

国語の勉強は得意ですか



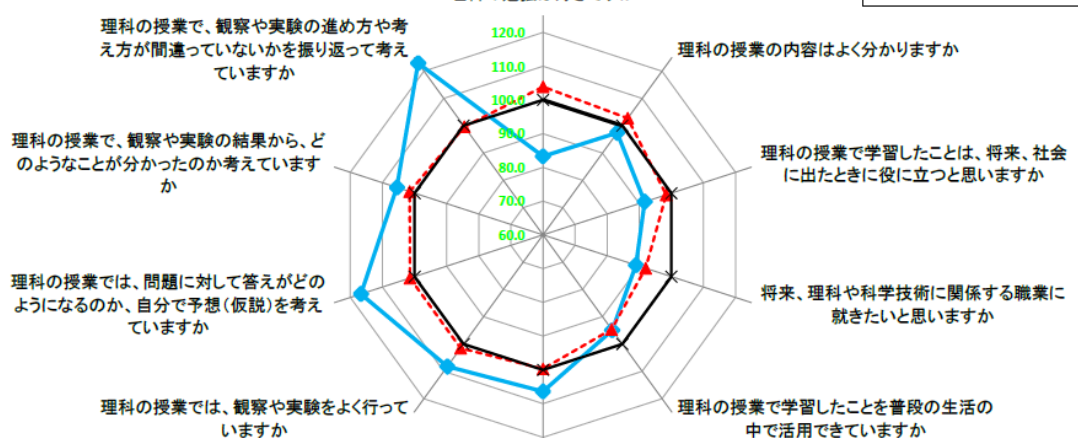
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

算数の勉強は得意ですか



算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか

理科の勉強は好きですか



自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか

「家庭での学習時間」「家庭学習でのICTの利用」が全道・全国比を大きく上回っています。※少人数のため、数人（学級の約3分の1）の数値が大きく影響しています。

また、起床時刻、朝食、就寝時刻の数値も全道・全国比を上回る結果となりました。日頃より、家庭でしっかりと子育てに関わって下さっている様子が見て取れます。本当にありがとうございます。

◇自己有用感等

小規模校の特性を活かし、一人一人を見つめ、その頑張りをしっかりと認めていくことで、児童の自己肯定感や自己有用感を高めていけるよう働きかけます。

ご家庭でも、引き続きお子さんの頑張りを認め、支えていただき、学校と家庭の両輪で、児童の健全な育成のための一助になることができればと思います。

